

## 12月

12月、早いもので今年も師走となりました。ここに来て急に寒さも厳しくなり、本格的な冬到来となりました。校内でもインフルエンザの感染者数が急増するという事態が見られたので、感染症対策については気を緩めず行っていきたいです。

11月22日には、3年生が毎年恒例となっている「中学生議会」に挑戦しました。これは、中学生がまちづくりについて考え、議場にて意見を表明するという体験を通し、行政や議会への理解を深めることを目的に実施しています。生徒たちは緊張したと思いますが、「通学路の安全対策」「町の活性化」「学校の施設」「教育支援対策」等について、堂々と質問することができました。また、町長様をはじめ行政の皆様方からも丁寧でわかりやすいご回答を頂くことができました。この取組を通し、3年生は地域の政治を身近に感じ取り、さらに美浜町民としての意識を高めたのではないかと期待しています。

12月9日には、これも恒例となっている学校周辺の松林清掃作業を行いました。当日は少し気温も低かったのですが、生徒たちは任された区画を綺麗にするために、精一杯励むことができました。生徒たちには今回の活動だけでなく、地域の美化活動等にも参加し、この風光明媚な素晴らしい景観を保ってほしいです。

12月24日には二学期の終業式が行われ、校長からはイソップ物語の「ロバを売る親子」の話をしました。ロバを売るために町に出かけた親子が、自分の頭で考えることなく、行き交う人達に言われるがまま行動した結果、最終的にはロバを失ってしまうというお話です。我々も目的を決めて、それを実行していく間に、たくさんの判断を迫られる時があります。困ったら人の話に耳を傾けることは大事なことです。その時、しっかりと自分の頭で考えて判断することが大切になってきます。

明日からは二週間の冬休みに入り、当然ながら自分の時間が増えていきます。規則正しく生活を送る場面、家の手伝いをする場面、くつろぎ、のんびりする場面、しっかり学習する場面等、様々な場面が中学生の皆さんを待ち受けています。どうぞそれぞれの場面で、自分の頭で考え、正しい判断・選択をし、主体的に行動してほしいと願っています。

【 松林清掃作業 】



【 中学生議会の様子 】

